

Q. 約束違反の中部国際空港

A. 県営名古屋空港は路線の 存続・拡大に努める

坪井 武成 議員

Q 「中部空港から国内線で100席以下の小型ジェットを飛ばす」と中部首脳。機能移転するときの約束は怎么样了か。

100席以下の就航は県営名古屋空港の等。県営の地元は何の事前連絡もなく一方的。中部の空の基礎をつくったのは、血の出る歴史を持つ名古屋空港ではないか。今のやり方は、強きを生かし弱きを殺すといった弱肉

強食の典型だ。当初の「都市二空港の精神はこへい」だったか。

①事前に2市1町に話があったか。

②愛知県の考えは、本町の調整は。

③町はどの対応するか

A ①事前に話は一切なく新聞報道で初めて知った。

②管理者である愛知県の考え方としては、「着陸料の値下げは空港会社の経営判断であり、従来の方針には変更はなし」とのことである。

③県営名古屋空港存続のため利用促進活動を継続して行く。

Q. 青山江川交差点の拡幅整備を

A. 拡幅には土地買収や 物件・営業補償が必要



拡幅整備が待たれる交差点

Q 以前にも質問した。この問題は、歴史的な問題やら地主さんの意向やら難しいと思うが、住民の方々は勿論、通行車両また、タウンバスも困っている。地主さんとよく話し合い逐次整備を。

A 青山江川交差点は、現況幅員が3.5mから4.5mと狭くなっている。これは、土地改良時に北側全てと南側の一部に既存住宅があったためである。拡幅するには、両側の土地の買収、物件補償及び営業補償が必要となる。

将来的には、道路幅員を7mで改良する必要がある。